* 回答用紙を2020年11月9日（月）までに、<program@fulbright.jp> 宛にWord ファイルでお送り下さい。

回答用紙ダウンロード先→ <https://www.fulbright.jp/scholarship/usa_about.html>

**回 答**

|  |  |
| --- | --- |
| **記入日：** |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 大学： | 部局：(学部、学科、研究科) |
| (日本語) |  | (日本語) |  |
| (英語) |  | (英語) |  |
| 住所： | 〒 |
| 1. 記入者氏名：
 |  | 部署・役職： |  |
| E-mail： |  | TEL： |  |
| 1. フルブライトとの連絡担当者（1)と異なる場合)：
 |
| 氏名： |  | 部署・役職： |  |
| E-mail： |  | TEL： |  |

1. 招へい希望期間（該当するものすべての□に×を記入して下さい）

[ ] 　10ヶ月（2021年9月中旬～2022年7月中旬）

[ ] 　秋学期5ヶ月（2021年9月中旬～2022年2月中旬）

[ ] 　春学期5ヶ月（2022年3月中旬～2022年8月中旬）

1. Justification to invite a Fulbright Lecturer（招へい理由を英語で簡潔にご回答ください。）

1. 招へい講師に担当してもらいたいクラス名（具体的に）：
	* + 対象の学生（例：学部3，4年生対象、など）：
		+ 対象の学生の英語習熟度（例：英検2級、TOEIC 700点、など）：
		+ 必要コマ数：
2. 希望する招へい講師の授業形態：

[ ] 　招へい講師が主担当となり単独で講義を行う

[ ] 　貴学日本人教授/講師と共同で講義を行う

[ ] 　招へい講師が主で講義を行うが、大学院生アシスタントを配置

[ ] 　上記のいずれも調整可能

1. 講師招へいに関して、部局内関係者の合意を得ていますか？：　[ ] はい　　[ ] いいえ
2. 貴学において招へい講師を受け入れる場合、年齢制限はありますか？：

[ ] はい（　　才まで）　　[ ] いいえ

1. 貴学においてこれまでに初来日の外国人講師を受け入れた経験がありますか？：　[ ] はい　　[ ] いいえ

「はい」とお答えの場合、簡潔に状況をご説明ください。（受け入れ時期、回数、頻度、サポート体勢等）：

1. 講師招へいに関して、近隣の他大学と共同で招へいを計画していますか？：　[ ] はい　　[ ] いいえ

「はい」とお答えの場合、近隣の他大学名：

1. 希望専門分野【人文・社会科学のみ】（希望する分野すべての□に×を記入して下さい）

[ ] アメリカ研究 　[ ] アメリカ史 　[ ] アメリカ文学・比較文学 　[ ] 思想・哲学 　[ ] 法律学

[ ] 経営学　 [ ] 経済学　 [ ] 社会学・人類学　　[ ] 教育　　[ ] 外交史・国際関係論　　[ ] 美術史

[ ] 政治学・行政学　　[ ] その他：

1. 受入れ側が提供できる施設・設備・サービス（該当する項目すべての□に×を記入して下さい）

[ ] 宿舎：　　[ ] 大学の宿舎　[ ] 民間住宅斡旋　[ ] 家具・家財道具付き　[ ] 家具提供

[ ] 研究室：　[ ] 個室　[ ] 共同利用　[ ] 電話　[ ] パソコン　[ ] インターネット、大学のメールアドレス

[ ] コピー機 [ ] 助手・院生アシスタント　[ ] 通訳　[ ] その他：

[ ] 交通費

1. 講師計画への要望（teaching以外に学内外等で考えられる活動等　例：講演会）：